

様式第 3 号

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第 19 回 (令和元年度 第 1 回) キセラ川西エコまち協議会	
事務局 (担当課)		土木部 キセラ川西推進課	
開催日時		令和元年 11 月 15 日 (金) 15 時 45 分 ~ 17 時 15 分	
開催場所		キセラ川西プラザ 福祉棟 2 階 共用会議室	
出席者	委員	加藤、山中、松村、武田、牧田、安田、松塚、大西、中家、中垣、畑中、阪上、篠崎、井上、寺田 (代理) (敬称略)	
	その他	(オブザーバー) 菅沼 (敬称略)	
	事務局	福庭、清水、古山、嶋田 堀内、松村 (公園緑地課) 絹原、中川、西本 (調査機関)	
傍聴の可否		可	傍聴者数 0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1 開会あいさつ 2 議事 <ul style="list-style-type: none"> ・ キセラ川西エコまち建築賞について (資料 1-1、1-2) ・ 建築分野におけるエネルギーモニタリング (資料 1-3) ・ まちの PR について (資料 1-4) 3 報告 (前回からの動き) <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築行為等の手続条例運用状況 (資料 2-1) ・ 交通部会について (資料 2-2) ・ みどり部会について (資料 2-3、2-4) ・ 環境学習・普及啓発について (資料 2-5) ・ みどり分野におけるまちの緑化モニタリング及び状況報告 (資料 2-6) ・ 先進的まちづくり大賞で“都市みらい推進機構理事長賞”を受賞 (資料 2-7) ・ (仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業者の決定 (資料 2-8) 4 今後の予定	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

<開会>

1. 開会あいさつ

(土木部 部長あいさつ)

- ・土地区画整理事業について、2年前に中央公園が開園し、現在は基盤整備も終了、換地処分作業の最終段階に入っており、今年度末には換地処分通知を発送し、来年度の換地処分の公告をもって事業完了となる。
- ・エコまち協議会は、令和4年度までとエコまち計画期間が決まっており、基盤整備から3年後までとやや期間がずれることとなる。
- ・大規模集客施設も夏にオープンし、かなりの賑わいを見せているようだ。このキセラ川西プラザも先日オープン1周年の記念事業を開催し、ホールでコンサートが催され、1,000席の全てが埋まる状況と聞いており、いいスタートができていていると感じている。
- ・キセラ川西という名称もかなり認知が広がっているように感じている。集客施設の家電用品店や紳士服専門店のテレビコマーシャルで「キセラ川西店」とPRして頂いているようである。
- ・ここは本市の中心市街地の一角を占めている。現在市では、中心市街地活性化計画の第3次計画の認定に向けての取り組みを進めており、エコなまちづくり、とりわけ交通が重要な位置づけになってくるのではないかと思うので、最後までしっかり進めていきたい。引き続きよろしく願いしたい。

○会長

- ・今回の協議会は、議事を先にして、報告に続くという予定である。
- ・さきほど選考会で決定したキセラ川西エコまち建築賞について事務局から説明をお願いします。

2. 議事

①キセラ川西エコまち建築賞について

○事務局

- ・資料説明

キセラ川西エコまち建築賞について (資料 1-1、1-2)

○会長

- ・キセラ川西プラザは圧倒的にすばらしかったという評価だった。他の施設については、高ラベリング物件ということで認定される予定である。ご質問、ご意見があればお願いしたい。
- ・補足として得点率についてコメントいただければ。

○事務局

- ・キセラ川西プラザは得点率がほぼ満点であった。その他は過去の表彰物件と比較してももう一歩ということで、次期に向けてより積極的な取り組みを期待するコメントを添えて、高ラベリング物件として認定するという結果となった。

○会長

②建築分野におけるエネルギーモニタリング

○事務局

・資料説明

建築分野におけるエネルギーモニタリング（資料 1-3）

○会長

・いかがか。

○委員

・最終ページの経年変化によるモニタリング結果について、公表は来年度からということだが、大変分かりやすいので、こちらの方法で示して頂ければと思う。

○事務局

・改めて本資料の公表の取り扱いについて説明したい。

・今回の協議会をもって公表するのは、資料ページでいうと 2/8 ページ、3/8 ページである。

・4/8 ページから 8/8 ページについては、今回の協議資料、公表案の根拠資料という位置づけで提示させていただいた。

・最終ページについては、今後の公表案に年度推移を盛り込んでいきたいという思いで参考に提案させていただいたものである。

○会長

・公表される内容については、順調に低炭素化が進んでいるという評価だろうか。将来予測については、今回は掲載しないのか。

○事務局

・準備が間に合っていないので、次回以降掲載をしていきたいと思う。

○会長

・特段他にご意見がないようなので、そのように進めていただければと思う。

③まちの PR について

○事務局

・資料説明

まちの PR について（資料 1-4）

○会長

・現在、この内容で作業を進めつつあるということである。A4 用紙で 8 ページの冊子ということで

あるが、ご意見が何かあればいただきたい。

- ・ 結構な取り組みだが、まちの方向性については、低炭素化を進めている地区なので、そういった環境配慮等から外れない形で言葉を使っていくと思うが、昨今は SDGs（持続可能な開発目標）がかなり広がってきている。国連が持続可能な開発目標として 17 項目提示したものであり、こういった取り組みにはほとんど SDGs が入っている。加えて ESG 投資（環境（Environment）、社会（Social）、統治（Governance）の 3 要素をもとに企業を評価し、優れた経営を行っている企業に投資する行動）も世界では主流となり、長期的にそれをいれないまちづくりはありえない時代になってきている。そのあたりは入れておかないと、すぐ時代遅れになってしまうので、配慮してはどうか。

○委員

- ・ まちの当事者からファンを増やすという方向性は良い。加えるなら将来の市民という考え方もあり、将来のファンづくりをしていくことも重要。
- ・ ガイドブックはわかりやすいが、まちのプロモーションはガイドブックだけでなく、マネジメントや既存のお祭り、公園で行われているアクティビティも PR の重要なチャンネルとなっているので、総合的なまちのプロモーションができるような、多様な人とコミュニケーションできるポイントが重要。
- ・ プロセスそのものがプロモーションになっており、人を育てることがまちを育てることになり、そのひとつのツールとしてガイドブックがあるということではないか。

○会長

- ・ 都市のブランドは一朝一夕にできるものではなく、蓄積の結果、結果的にまちのブランドが生まれるものである。いろんなイベントや活動の介入が積層し、まちがつけられていく。ともすれば悪いイメージも簡単に出来てしまうものである。

○委員

- ・ 今回の文章の中で、シティセールスという言葉がイメージとしてそぐわない。セールスではなく、育てていくというイメージに近いのではないか。

○会長

- ・ 住民目線ではそうかもしれないが、市としてはシティセールスする必要があるということもあるかもしれない。
- ・ 住民に訴求するようなブランドを考えると、委員がおっしゃったことだが「来てみたいまち」となるとセールスということも重要な視点になってくるかもしれない。そのあたりはバランスを考えてもらえればと思う。

○委員

- ・ A4 用紙で 8 ページとなると分量がやや多い。
- ・ 今のキセラ川西はせせらぎ公園で子どもがたくさん遊んでいて、いい風景になっている。肖像権の許可など難しい問題はあるが、できるだけ公園などを使っていらっしゃる方の笑顔がたくさん

あるといいパンフレットになるのではないか。

○会長

- ・アニメが浸透したのは、肖像権がクリアできるから。イラストなどもうまく使ってという方法もあるかもしれない。

○委員

- ・イベントなど実施するとき小さいお子さんの写真を撮っても、成長によって顔も変わってくることもあってOKいただくケースもある。モデルさんでない方がよいのではないかと思う。

○委員

- ・ガイドブックという名前だと分厚いイメージがある。A4用紙8ページの中で情報を詰め込むことになるが、8ページに入らなかったものをホームページなどにしっかり掲載することも重要である。印刷物は予算がなくなると消えてしまうこともあり得る。
- ・ここに関わっておられる職員の方も異動などでいなくなると、キセラ川西への想いが少なくなっていくことを懸念する。一番の当事者は市役所職員でもある。皆さんの想いを一人称で語るようなことも考えていただければと思う。行政のホームページはさらっとしているものが多く読んでいても心に残らない。想いがつまったものをつくっていただくことを期待する。

○会長

- ・一回限りの紙媒体では十分でなく、後々に残るようなもの、更新できるものもあわせて考えてはどうかというご提案。
- ・次回決定案が報告いただけると思う。

3. 報告（前回からの続き）

○事務局

- ・資料説明
 - 建築行為等の手続条例運用状況（資料 2-1）
 - 交通部会について（資料 2-2）
 - みどり部会について（資料 2-3、2-4）
 - 環境学習・普及啓発について（資料 2-5）
 - みどり分野におけるまちの緑化モニタリング及び状況報告（資料 2-6）
 - 先進的まちづくり大賞で“都市みらい推進機構理事長賞”を受賞（資料 2-7）
 - （仮称）市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業者の決定（資料 2-8）

○委員

- ・あと4年で、エコまち計画の期間が終了する。当然ながら計画が終わってもまちづくりは続く。この4年間のうちにするべきことを精査していく段階に来ていると感じた。活動に携わる市民も育ってきているが、企業も含めて、エリアマネジメントの組織のあり方など議論をすべきではな

いか。

- ・みどり部会関連の公園の使いこなしについては、使用回数が増えているのはいい傾向である。一方で、定期的に使われているイベントが中心で、新規の使用が増えないということが課題としてとらえることができる。オープンな利用を促進しつづけることが大事かと思う。
- ・先ほど現地を歩いたが、樹木が結構枯れている。施工段階で瑕疵がついている形もあると思うので、植え替えを行うなど適切な処置をお願いしたい。

○委員

- ・総合医療センターについて、車のアクセスはどうなるのか。

○委員

- ・資料 2-8 の 3 ページ目に車両の流れを記載している。公園に面する南側がメインエントランスになり、左の道路から入り、南のエントランスまで寄せる。緊急車両は西口の上からアクセスする。
- ・駐車場は敷地内に障がい者用が数台、低炭素型複合施設との共用として 220 台設定している。

○委員

- ・共用の駐車場から歩くということか。

○委員

- ・そうである。身体の不自由な方には、エントランスの車寄せで降りて頂く形になる。

○委員

- ・この病院に関する交通計画は、エコまち協議会の交通部会の範疇ではないと認識してよいか。
- ・要求水準書では駐車場についてどう位置付けされているのか。通常はシミュレーション等をして建設の担保をすると思うが、病院を建設するのに離れた駐車場から歩かせるというのはあまりにも不適切である。その責任は交通部会では負えない。

○委員

- ・通常だと、地下駐車場がありそうな気がするが。交通部会の方にもご意見をいただくというのはあっても良かったかもしれない。

○委員

- ・通常の病院にはない交通計画だと思う。非常に残念な計画である。

4. 今後の予定

○事務局

- ・本日は、ご議論いただきありがとうございました。
- ・キセラ川西エコまち建築賞は、本日の決定を踏まえ、市の決裁を経て公表していく。
- ・エネルギーモニタリングは、速やかに公表できるように手続きを進めていく。

- まちの PR については、いただいた意見を踏まえ、当事者のお声をお聞きしながら PR 資料を作成し、次回協議会に案をお示しできたらと考えています。
- 次回のエコまち協議会の開催は3月頃を想定している。引き続きよろしくお願ひしたい。